【学校通信】

平成 28 年 10 月 3 日

第 12 号

西中の風

伊丹市立西中学校長
大西　規之

【速報】平成２８年度伊丹市学習到達度及び全国学力・学習状況調査結果報告

３年生対象に、平成２８年４月１９日（火）に行われた「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果等をお知らせいたします。なお、この調査で測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。

生徒に対する調査

（１）学力に関する調査

＜全国学力・学習状況調査＞

〔国語Ａ・数学Ａ〕※それぞれ４５分

〇身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など〔主として「知識」に関する問題）を中心とした出題

〔国語Ｂ・数学Ｂ〕※それぞれ４５分

〇知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容〔主として「活用」に関する問題）を中心とした出題

（２）学習状況に関する調査（生徒質問紙）４５分（２０分程度の分量）

中学校第３学年の生徒対象の、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査。

学力に関する調査結果について

「本校生徒の正答率」と「全国の平均正答率」との比較（※単位%）

国語Ａでは＋１．３Ｐ、国語Ｂでは－２．５Ｐ、数学Ａでは＋１．６Ｐ、数学Ｂでは＋０．８Ｐ、

知識・技能等については国語、数学とも全国の平均正答率を上回っております。ただ、知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力については、数学は全国の平均正答率を上回っていますが、国語では全国の平均正答率を下回り課題が残りました。国語については定期テストや実力テストで出題されるような問題とは異なる、「知識」のみでなく、それを活用して自ら課題解決を問われる問題に対応できていないのではないかと考えられます。

学習状況に関する調査結果について（生徒質問紙の内「学習」に関する項目から抜粋）

①学校の授業時間以外、平日（月～金曜日）の学習時間が１時間未満の生徒が３割を占めています。（塾、家庭教師を含む）昨年度は約４割でしたので少し改善されました。

②休日の学習時間が１時間未満の生徒が２割強を占めています。（塾、家庭教師を含む）昨年度は半数近くを占めていましたのでかなり改善されました。

③家で、自分で計画を立てて勉強している生徒は、全国平均と比較すると－３．２Pです。昨年度と比較すると３．２P改善されています。

④家で学校の宿題をしている生徒は、全国平均と比較するとほぼ同レベルですが、昨年度と比較すると少し減少しました。

⑤家で、学校の授業の予習をしている生徒は、全国平均と比較すると－７．１Pです。昨年度と比べると３．１P改善しました。

⑥家で学校の授業の復習をしている生徒は、全国平均と比較して－１０．７Pです。昨年度と同レベルです。

（※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した生徒を「している」としました）

週末課題、土曜学習等の成果が出たのか、平日、休日とも家庭における学習時間が増えました。しかし、計画的な学習や予習復習に課題が残りました。